

考動

K O D O

僕らの前に道はない
僕らの後ろに道はできる

第45号 2019. 8月

雄飛

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 山口尚文 編集責任者：西田裕志 第45期 広報委員会



鳥取県西部中小企業青年中央会
第45期会長 山口 尚文

山進運輸(株) 代表取締役社長

S 52年 4月生まれ

(中央会活動経歴)

H23年度 入会

H26年度 委員長

H27年度 副会長

H28年度 県出向監事

H29年度 副会長

H30年度 監事

T.S.C
第45期スローガン

考動

K O D O

僕らの前に道はない
僕らの後ろに道はできる

2019

鳥取県西部中小企業青年中央会

ご挨拶

鳥取県西部中小企業青年中央会 第45期会長を務めさせていただきます山口 尚文と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

当会は昭和50年に発足し、綱領を礎として、地域の為、会員の為、会員企業の為を思う活動を行って参りました。そして、その歩みは振り返ると45年という歴史を築くまでとなりました。これも偏に、私たちの活動へ日頃より、ご理解ご協力いただいております関係各位の皆様、OB会員の皆様のサポートがあったからこそだと感謝申し上げますと共に、去る令和元年7月16日に開催させていただきました45周年記念式典・祝賀会を多くの方にご出席いただき盛大に開催出来ましたこと厚く御礼申し上げます。

そして、いよいよ第45期がスタートいたしました。時代は平成に終わりを告げ令和へと移り変わり華やかな機運が高まっております。しかし、実態社会においては「少子高齢化」「人口減少」等の課題はますます加速し、それを背景とした様々な変革が起こり、その対応を迫られることは間違いありません。そしてそれは今後の中央会の在り方にも影響を

与えるはずですが、しかし目の前に多くの課題があるのは今に限った事ではなく、これまででもずっとそうだったはずです。目の前の課題から目を背けることなく超えて来たからこそ今があると実感しております。そして現役会員の私たちには、その歩みを前へ進める責任があり、英知・友愛・団結という綱領に相応しい活動をしていく使命があり、その繰り返しこそが歴史を作ることだと感じています。そこで、「考える力」と「勇気を持って行動する」の両方が対となって初めて一つのことが成し遂げられる、そして不安を抱えながらも前に一歩踏み出すような活動がしたいと願い、スローガンを「考動」、活動テーマを「僕らの前に道はない 僕らの後ろに道はできる」と掲げさせていただきました。このスローガン・活動テーマの下、創立50周年に向けた第一歩を全会員で力強く踏み出します。

結びになりますが、今後も西部青年中央会は地域の為・会員の為、会員企業の為を思い活動して参りますので、皆様方へ引き続きのご指導ご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。

副会長・専務理事ごあいさつ



総務委員会担当
副会長 中村友紀

(株)サンイントウエイ 代表取締役社長
H19年度 入会
H21年度 副委員長
H30年度 委員長

第45期総務委員会担当副会長を拝命しました中村友紀です。昨年度はビジネス経営委員会委員長、今年度は副会長を仰せつかり大変光栄に存じます。

中央会が創立され45年の節目となる年であり緊張感を持って会の活動を全うしたいと思っています。また、環境が変化し会員数が減少する中で先輩の方々が守られてきた中央会をどのように永続していくのかを副会長という立場で考えていかなければなりません。

そして何より大切なのは第45期山口会長が掲げられた「考動」を住委員長、徳中副委員長を中心に委員会メンバーと懸命に実現していく、歴代先輩方が守られてきた中央会45年間の歴史に感謝と敬意を持ちながら一年間を全うしていきたいと思っております。よろしくお願いたします。



広報委員会担当
副会長 西田裕志

山陰酸素工業(株) 技術本部 技術部 供給技術グループ メディカルチーム 課長
H26年度 入会/H28年度 副委員長/
H29年度 委員長/H30年度 副会長

第45期副会長を拝命いたしました西田裕志と申します。前期に引き続いて副会長を仰せつかり大変光栄に思っております。今期は渡邊委員長、下村副委員長率いる広報委員会を担当させていただきます。

広報委員会は当会の魅力ある活動や会員の成長する姿を内外に発信する重要な責務を負っております。我々を取り巻く環境の変化が急速に進む時代となり、広報活動をいかに効果的・効率的に行うか実践、検証して次なる世代へ繋ぐ必要があります。今期卒会年度となりますが、山口会長の想いと渡邊委員長をはじめとする委員会メンバーとの想いがリンクするよう「考動」し、この節目の年度をしっかりと活動してまいります。

皆さま1年間よろしくお願いたします。



継続準備委員会担当
副会長 奥森秀夫

新和産業(株) 工事部統括部長
H23年度 入会/H25年度 副委員長/H26年度
県出向理事/H27年度 委員長/H28年度 副会
長/H29年度 専務理事/H30年度 県出向監事

第45期副会長を拝命いたしました奥森秀夫と申します。担当委員会は石田委員長、安藤副委員長が率います継続準備委員会です。委員会メンバーも頼もしい方が揃い今から楽しみにしております。

当委員会は、お地蔵さまプロジェクト(お地蔵さまフェスティバル開催)をメインとした委員会です。第5回目となる今期は節目の開催となります。第10回開催へと継続する為の礎となる事業構築ができるよう副会長として努めさせていただきます。

また、私がこれまでOBの皆様、現役諸先輩の皆様から学ばせて頂いた事をお伝えしていければと思っております。引き続きの皆様のご協力、ご指導のほど宜しくお願いたします。



政治経営委員会担当
副会長 橋本真和

美保テクノス(株) 基礎技術事業所長
H25年度 入会
H29年度 委員長
H30年度 副会長

第45期副会長を拝命致しました橋本真和です。昨年に引き続き副会長という大役を仰せつかり、大変光栄に思っております。

今期担当させて頂く委員会は政治経営委員会です。政治と経営という広い範囲の中で、松田委員長がどのような課題を取り上げ、そして会員にどう伝えていくか、私自身も非常に楽しみにしております。松田委員長の想いをしっかりと形にできるように、優しく時には厳しく、全力でサポートしていきたいと思っております。

私自身、今年がラストイヤーになりますが、この時期に山口会長から副会長という大役を任された意味をしっかりと考えながら「考動」していきたいと思っております。一年間どうぞ宜しくお願いたします。



地域ビジョン委員会担当
副会長 堀尾一仁

(株)堀尾建築設計事務所 専務取締役
H26年度 入会
H28年度 副委員長
H29年度 委員長

第45期副会長を拝命いたしました堀尾一仁です。地域ビジョン委員会を担当させていただきます。副会長という大役を仰せつかりましたが、いままで諸先輩方から学んだ様々なことや自分が委員長を務めた時の経験を生かし、担当委員会の小谷委員長、柏木副委員長をしっかりとサポートしていければと思っております。そして、委員長が掲げた目標へと皆で進んでいけるよう、委員会活動を陰ながらですが、しっかりと支えていけたらと思っております。そんな委員会の盛り上がり、会全体へと響きわたり、山口会長が掲げるスローガン「考動」へとつながる年間活動が出来ればと考えます。

1年間、しっかりと考え、行動し、精一杯活動していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。



専務理事
理事 恵比木健

(株)松本店 課長代理
H27年度 入会
H29年度 副委員長
H30年度 委員長

第45期山口会長より専務理事という大任を仰せつかりました恵比木健でございます。私のような若輩者が諸先輩方のようにこの大きな役目に責任を果たせていけるのかどうか・・・。不安と楽しみが心の中に共存する複雑な気持ちであります。しかし、なぜ今この役目を与えられたのか、その意味をしっかりと噛み締め、一年間の活動を通して私にとっての新たな道を切り開いていきたいと考えております。

第45期も今までと同様に全会員にとって有意義で実りのある年度にすべく、またスローガン「考動」を当会で体現すべく、山口会長の傍らで粉骨砕身して参ります。まだまだ未熟者でありますので皆さまよりご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願申し上げます。

委員長・理事ごあいさつ



総務委員会

委員長 住 真介

住法律事務所 代表弁護士
H24年度 入会/H27年度 副委員長

真心

第45期総務委員長を拝命いたしました住真介です。今期の総務委員会のテーマは“真心”と致しました。総務委員会は、来賓・OB会員をお招きしておもてなしをする事業を担当し、現役会員のために内規の検討やその他事務を執り行う等、自分以外の人に対して心を尽くすことが必要であることから上記のテーマとしました。我々総務委員会は、第45期のすべての活動において、場面ごとに応じた「真心」とは何か、常に考え実践して中央会を支えていく所存です。45周年の節目を迎え、さらに今後中央会が発展、継続していくため、総務委員会一同一丸となってこの1年しっかりと中央会の土台として務めて参りますので、よろしくお願い致します。



広報委員会

委員長 渡邊公平

侑渡辺商店 主任
H26年度 入会/H29年度 副委員長

BLOOM～伝える力～

第45期広報委員会委員長を務めさせて頂きます渡邊公平です。

広報委員会テーマを“BLOOM～伝える力～”と致しました。『BLOOM』を和訳すると「開花」「輝き」「盛り」などの意味があります。広報活動を介して委員会メンバーの個性や能力などが輝き、花開き、そして盛んな委員会活動をしていきたいと思っています。

広報誌ハンサムやホームページを通じて西部青年中央会の魅力を発信していきます。その為にも思いを伝える力を学び鍛えて、皆様に楽しみにして頂けるような広報活動に邁進いたします。

ハンサムなどの作成にあたり、会に関わる多くの方にご協力頂きますので感謝の気持ちを忘れず、委員会メンバー一丸となって活動いたしますので皆様1年間よろしくお願い致します。



継続準備委員会

委員長 石田倫章

ウィルビー㈱ 課長
H24年度 入会/H27年度 副委員長

心と形～両方が調ってこそ、継続事業～

継続準備委員会の委員長を務めます石田倫章です。

継続準備委員会は、第41期から当会全体で続けております大山お地蔵さまフェスティバルの第5回開催を担当すると共に、過去4回と積み重ねてきたお地蔵さまフェスティバルの経験・資料を整頓し、今後も西部青年中央会の継続事業として開催していけるようにするために準備を行う事を活動目的としております。

大山お地蔵さまフェスティバルは、継続して行ってこそ意味があると私は考えます。これまで開催を担当してきた4委員会と会全体、協力してくださった方々の努力と苦勞と想いを無にしないためにも、この目的は何としても成し遂げたいと思います。改めて、皆様のお力添えを頂きますよう、お願い申し上げます。



政治経営委員会

委員長 松田順次

合同印刷㈱ 取締役社長室室長
H21年度 入会/H28年度 副委員長

企業の未来を見据えた改革 ～最高の結果を得るために～

第45期政治経営委員会の委員長を拝命しました松田順次です。委員会テーマを“企業の未来を見据えた改革～最高の結果を得るために～”とさせて頂きました。

企業を取り巻く環境が絶えず変化している中で、様々な計画を実行して思うような結果が出ないことがあると思います。今一度、仕事の基本であるPDCAサイクルに着目し、「計画立案の重要性」「計画立案時の思考法、作成法」を学び、実践したいと思っています。また、計画を実行する上で生じる諸問題について検証し、解決法や改善策について学び、企業に持ち帰ることのできるものになりたいと思います。今期のテーマである「考動」を実践できるよう活動していきますので1年間宜しくお願い致します。



地域ビジョン委員会

委員長 小谷泰樹

㈱シー・アンド・エヌネクスト 営業統括リーダー
H24年度 入会/H30年度 副委員長

価値観を重ねて、創造する

第45期地域ビジョン委員会の委員長を務めます小谷泰樹です。宜しくお願い致します。当委員会では「地域の魅力」にフォーカスして活動していきます。あらためて我々の地域を客観視し、魅力の素となる自然・文化・食など様々なテーマを取り上げて、その魅力を探り、より多くの人が共感できるような地域の“物語(ストーリー)”を創造していきます。そして自らその物語を体感すべく地域を“遊び場”に積極的にフィールドワークを行います。

我々の委員会テーマは“価値観を重ねて、創造する”です。時代の変化スピードは益々早く、昨日までのルールや正解は頼りになりません。そのような時代の中、我々は自ら判断し答えを見つける為に、多様な価値観(=ものの見方、考え方)を身につけ積層できるよう、委員会活動の中で学びを得ていきたいと思っています。



会計担当理事

理事 田中健雄

司法書士法人 田中事務所 代表社員
H19年度 入会
H22年度 副委員長/H24年度 県出向理事

第45期会計担当理事を拝命致しました田中健雄です。

会計担当ということで、通常とは違った視点から見えてくるであろう中央会を1年間通して勉強させて頂きます。そのためにも、中央会の会計の流れを迅速に把握し、会の活動がスムーズに運営されるよう会計担当として考動していく所存です。また、OB会様からの助成金、各会員様から納入頂く会費という部分において会計に責任を持つ立場として、ミスのないよう肅々と任務を遂行したいと思っています。

皆様方のご指導ご鞭撻並びにご協力をいただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

創立45周年記念基調講演 西野朗氏を迎え

当会創立45周年記念事業として、「ビジネスにも活かせるチームマネジメント～組織の力を引き出し、短期間で結果に導く～」との演題で、元サッカー日本代表監督の西野朗氏から、W杯本戦直前での監督交代により急遽、日本代表チームの指揮を執ることとなった自らの体験談を踏まえ、組織に携わるプロフェッショナルとしての考え方、指導者としてのあるべき姿について基調講演をいただいた。



講演の内容は、あるべき指導者像として選手を自分の理想の型に当てはめようとするのではなく、選手が本来持っている力を引き出していく方向へと導いていくこと、チームメイトが互いの力を連携し合い、目標に向けて総力戦で戦う意識づくりの大切さなど、企業経営にも通ずるものであった。また、選手とのコミュニケーションについて、一方的な自分の考え方の押し付けや、改まって取るようなものではなく、日常的に普通に囚われるべきものであるという点は、「風通しの良い働きやすい企業」という考えにもつながるものであった。



創立45周年を迎え、「時代に挑み 次代を創る」我々中央会が、次世代にバトンをつないでいくための大きなヒントを得ることができた貴重な時間となった。

(記事:三嶋)

令和元年度通常総会 『使命感』から『考動』へ

令和元年7月16日(火)、ANAクラウンプラザホテル米子にて令和元年度通常総会が開催された。



冒頭の第44期秋里会長のあいさつでは「44期の活動、会員の皆さんに支えていただき『使命感』を達成することができた。慎重に審議をお願いして、この後の式典でも中央会らしさをだして45期へつないでいきたい」と感謝とお願いを述べられた。続いて新入会員バッジ授与式が行われ、川原聡司会員、景山慎也会員が青年中央会の新たな一員となった。

通常総会開催の為、第44期西田副会長が議長に選任され、第1号議案【平成30年度事業報告、ならびに収支決算承認の件】は第44期高塚専務理事より説明があり、満場一致で承認された。第2号議案【令和元年度事業計画、ならびに収支予算書(案)承認の件】は第45期恵比木専務理事より説明があり、こちらも満場一致で承認された。

続いて会長バッジ授与式があり、第44

期秋里会長が第45期山口会長の襟元に金バッジを付けられた後、固く握手を交わされた。



特別功労賞表彰では、第43期会長を務められた三輪龍介会員へ感謝状と記念品が贈られ、三輪会員より「43期を支えていただいた会員を代表して、ありがたかったです」と感謝を述べられた。また、会員表彰では皆勤賞28名、精勤賞31名の表彰があった。



最後に委員会表彰があり、優秀委員会には、ビジネス経営委員会が受賞し第44期中村委員長より「始まる前はメンバー一人



人と向き合ってやっていかないと考えていたが、終わってみると一緒にやって貰ったという思い、本当にありがとうございました」と感謝を述べられた。最優秀委員会は第4回お地蔵さまフェスティバルを大成功で終えた地域ビジョン委員会が受賞し、第44期山内委員長より「1年間支えてくれた委員会メンバーそして全会員の皆さんの力、この賞をしっかりと喜びたい」と思いを伝え委員会表彰を締めくくった。そして令和元年度通常総会は幕を



とじた。(記事:高井)

卒会式

第44期秋里会長より、内田(和)会員、上田会員、生田会員、本田会員、山口(早)会員、森下会員、上村会員、第44期三輪直前会長それぞれに卒業証書と記念品、花束が贈呈された。全員卒業にあたり会への感謝の気持ちと中央会活動をやり遂げた達成感に満ち溢れ、花束を受け取る度に秋里会長と熱い抱擁を交わした。



卒会者代表として、あいさつを行った内田会員は、これまでの10年を超え

る中央会活動を振り返りながら、その思いに触れ、現役会員全員との絆を深く印象付けた。また、あいさつの最後には山口百恵の引退を彷彿とさせるようなバッジの返



還パフォーマンスを行い、会場を大いに盛り上げた。最後に秋里会長より卒会者の皆様への贈る言葉では、これまでの活動を思い出しながら、こみ上げるような言葉で、これからも身近な存在で中央会に対してご指導賜うようお願いをした。こうして盛大に卒会式は終了した。



(記事:白井)

鳥取県西部青年中央会創立45周年記念式典・祝賀会開催

当会創立45周年記念式典が7月16日 ANAクラウンプラザホテル米子、飛鳥の間にて盛大に開催された。

45周年事業実行委員会 足立委員長の開会宣言の後、秋里直前会長より「本日、創立45周年を迎えるにあたり、スローガンを『繋ぐ』と掲げ準備を進めて来た。記念事業と並行して5年間の振り返り、また、会員一人一人の意識調査も実施した。本日の記念式典ではそれらを映像にまとめ、皆様方と共に西部青年中央会のアイデンティティを再確認したい。そして50周年に向けての新たな一歩へと繋いでいきたい」と挨拶された。



達(信) 会員、小坂会員より発表が行われた。そして、アンケート結果を取り纏めて作成した上程書を提言部より第44期秋里会長へ受け渡し、そしてさらに第45期山口会長へと引き継がれた。



そして、45周年事業実行委員会副委員長の中西会員による閉会宣言を以って記念式典は盛会のうちに終了した。

る』『勇気を持って行動する』が対となり、初めて一つの物事を仕上げられるという事ではないか。社会の課題は今ますます加速し、その対応を迫られる事は間違いない。だからこそ『考動』を再確認し、より磨きをかける必要がある」と挨拶された。



その後、来賓を代表し、鳥取県西部総合事務所所長 藤井秀樹様、鳥取県中小企業団体中央会会長 谷口譲二様よりご挨拶をいただいた。



その後、来賓を代表し衆議院議員 赤沢亮正様よりご挨拶を、続いて土井OB会長より激励のお言葉をいただいた。そして、懇親会は清水境港副市長の乾杯で幕を開け、来賓・OB席へ現役会員が挨拶に伺い、名刺交換など積極的に行っている姿が多く見られた。歓談を挟んだ後、第45期の役員が紹介され、8名の卒会者より一言ずつご挨拶いただいた。その後、応援団と新入会員より、第45期の門出を祝してエールが贈られ、そして、SAXBOX様による素晴らしいサクスの演奏をご披露いただいた。

続いて、記念ビデオの上映が行われ、40期から44期までの5年間の振り返り、また継続事業を開催するに至った想いが流された。その後、40周年のときの提言を振り返り、50周年へ向けて実施されたアンケートの内容、結果について、提言部の安

引き続き同会場にて祝賀会が開催された。第45期のスタートを祝う祝賀会は、和楽衣箱様の迫力ある太鼓によって盛大に幕を開けた。

続いて、第45期山口会長より「会の中で受け継がれて来た事は『しっかり学び考え

最後に、中締めのご挨拶は米子市長 伊木様より「時代を切り開くのは中央会の皆様の心意気だ」と一本で締められ、大盛況のうちに閉会となった。

(記事: 仲佐)



鳥取県中小企業青年中央会 第45回通常総会・懇親会

鳥取県中小企業青年中央会 第45回通常総会が7月23日(火)スマイルホテル米子にて執り行われた。総会には計124名が出席し、続く懇親会では日頃お世話になっている来賓の方々へ新たな役員の顔ぶれをご紹介しますと共に、会員同士が地区の隔たりなく交流を深め、第45期の門出を祝った。



通常総会では第44期 濱田県会長が冒頭の挨拶にて各地区の45周年式典や総会の開催を労い、県事業へ尽力した役員や会員へお礼を述べた。続いて第44期 秋里県副会長が議長に選任され、平成30年度の事業報告や収支報告、令和元年度の新役員の指名承認、事業計画が発表され、いずれも満場一致で

承認可決した。新年度の事業計画ではテーマを「共創(きょうそう)」、サブテーマを「広げよう、深めよう友情の輪」とし、会員の糧となり、たくさんの仲間を作ってもらえる事業を目指すことを宣言した。



総会後の懇親会では、まず第44期 濱田県会長から鍵の引き渡し式が行われた。第45期 林県会長は「成果は一人の力では成し遂げられない。東部・中部・西部の各地区が県事業で互いに切磋琢磨しあうことで、たくさんの仲間が得られる。こうした環境が鳥取県内の中小企業、鳥取県全体の発展に結びつく。『出てきてもらった会員全員に心から喜んでもらえる事業』、『仲間作りの場を提供する』の2点を柱に県事業を行っていききたい。県会長として歴史に残る1ページを記せることは大変誇りに思う。『英知・友愛・団結』の綱領のもと、1年間突っ走っていく」と抱負を語った。



続いて、鳥取県中小企業団体中央会 田栗専務理事より「個々の企業が加入している鳥取県の中央会は全国でも類を見ない。このような組織があるからこそ、県全体の友情の輪が広がり、鳥取県は力強く発展できると思う」とのご祝辞を頂いた後、第44期の県会長と県副会長に対して楯の贈呈が行われた。

伊木米子市長は「選挙が終わり、現実の諸問題と向き合えるようになった。『時代に挑む』という意識を中央会の会員同士が共有することで、厳しい時代であっても突破できると確信している」と乾杯の挨拶を述べられ、懇親会が始まった。



懇親会の中では役員の紹介が行われ、各地区役員の自己紹介では各々の個性が光る自己紹介が披露された。また、民謡尺八演奏者の美風氏をお招きし、笑いを交えつつ尺八や三味線での演奏が行われ、阿部境港市産業部長の掛け声で中締めを行い、懇親会は盛況のうちに閉会した。



当会30周年の際に作成されたキャッチフレーズ『時代に挑み、次代を造る。』は時代を見据え、挑戦・創造を繰り返し、さらに一歩先を見つめ歩んでいく意味が込められており、来賓の方からも注目を集めていた。45周年という記念すべき年において、改めて見つめ直す良いきっかけとなったのではないだろうか。

(記事:高田)



第39回 全日本トライアスロン皆生大会

360 KANSAI TRIATHLON

去る7月14日、39回目となるトライアスロン皆生大会が開催された。本年は梅雨空の中、幾分過ごしやすい気候であったように思える。中央会からは「チームT.S.C」「チームまめなかや？」2チームが参戦。両チーム無事完走した。40回目の記念大会を控える中、会員ひとりひとりが事前準備から力を出し切った中央会らしさの目立つ大会運営がなされた。

(記事:長谷川)



完走お疲れ様でした! トライアスロン参加選手感想

内田和也新OB (㈱内田重機 代表取締役)



どうも新OBの内田です。2度目の出場という事もあり、緊張感が抜けてしまい、あまり練習をしませんでした。ランニングは全くしていなかったもので、当日天候があまり良くなくファーストランになったらどうしようと不安がありました。ですが何とかスイムになり安心しました。

中継地点で陸に上がった時、耳栓をはずさなかったのが声が少し聞こえにくかったのですが、ウッチーと言う声援をたくさんいただきました。必死で応援してくれているんだとすごく感じ、声援のおかげで無事泳ぎ切る事ができ、完走することができました。みなさん応援ありがとうございました。

石田倫章会員 (ウィルビー㈱ 課長)



今年も現役会員でチームT.S.Cを結成し、第39回皆生大会に参加・完走しました。私はバイク担当で、昨年未達の目標タイム5時間30分を目指し、スイム担当・内田会員からバトンを受けスタートしました。

中盤まで良いペースで目標タイムは確実に切れると思ったのですが、左膝に痛みが始め中山から大きくペースダウン。最後10kmは右足1本で走るしかなくなり皆生に戻った頃には息も絶え絶え。最後まで降車位置を間違え10分ペナルティまで受ける始末で、個人的には散々な結果となりました。

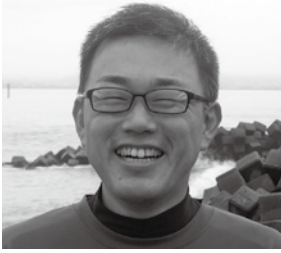
ラン担当・上村会員のゴールを見逃すというボカもあり、思い残す事の多い大会となりました。来年は40回記念大会、より良い結果が出せるよう精進してまいります。

上村卓弘新OB (ダイニチ技研㈱ 代表取締役)



石田委員長から声がかかって、現役最後の大会にてランパートを走りました。3月10日のとっとりマラソンでは4時間21分とまずまずでしたが、その後の調整不足や序盤のオーバーペースにより、一昨年より17分も遅い5時間52分でした。後半は徒歩の人より遅いペースとなるなど大変厳しいレースでしたが、各所の声援で気力がみなぎりました。ありがとうございました!

第39回全日本トライアスロン皆生大会を終えて



実行委員長 高塚康治 (株富士オートメーション 取締役副社長)

トライアスロン実行委員長の高塚です。皆さまのご活躍により、期首の大きな継続事業の一つとして実施することができました。とくに各部長の方におかれましては、各部員を牽引し、見事大役を果たしていただきました。今大会は45周年事業とも重なり、気持ちもどこか落ち着かないなかでの開催でしたが、大成功でしたね。終礼の長砂倉庫、あれだけの会員で事業を終えることができたことに、中央会の強さを再認識いたしました。45期絶好のスタートが切れたと思います。なんでも噂では45期の成功を祈願したとかしないとか(笑)。各部の伝統を大事にし、反省することを忘れずに、次回大会に繋げていきましょう。皆さん、本当に忙しい中お疲れ様でした！！

ボランティア部長 福山輝展

(日産プリンス鳥取販売(株) 営業課長)



第39回大会のボランティア部長を務めさせて頂きました福山です。まずは大きな事故やトラブルも無く大会を終えられたことに感謝しております。また様々な

機会でご協力頂いたマラソン部・AS部の皆様、本当にありがとうございました。そしてOB会員・一般サポーターも含めたボランティア部の皆さん本当にありがとうございました。各担当のリーダーが想像を遥かに超える働きをしてくれて、またそのフォローをお願いしたベテラン会員さんにも最高のサポートをして頂きました。その分負担も大きかったはずですが、皆さんが活動に真剣に向き合ってくれたおかげです。それぞれ忙しい申しっかり活動してくれたメンバー皆に心から感謝しております。感謝の言葉ばかりになりましたが、これが今回部長として感じたことのすべてです！

マラソン部長 田中健雄

(司法書士法人 田中事務所 代表社員)



今年もみなさま大変お疲れ様でした！昨年度に引き続き部長の任命を頂きましたが、まさかの当日不在。そのため当日は、木嶋副部長に実質的な部長として、

業務を遂行して頂きました。また、心強いマラソン部の皆様に助けて頂き、本当にありがとうございました！今年も急遽、備品洗いの場所が体育館から長砂倉庫に変更となりましたが、各会員の臨機応変な対応で、結果的に過去最短の時間で作業が終了できたのも、素晴らしい事でした！今年も各部連携がスムーズで業務マニュアル化も進んでますが、まだ改善の余地があるのだと実感すると共に、トライアスロンは中央会のパワーがあって成立していると改めて感じました。福山部長率いるボランティア部、堀尾部長率いるAS部からも多くの御協力を頂きました皆様に感謝です。ありがとうございました！

AS部長 堀尾一仁

(株堀尾建築設計事務所 専務取締役)



大会当日の天気予報は雨。また雨か・・・と、雨天バージョンでの準備を進めておりましたが、当日は早朝で雨は止み、太陽が雲で覆われた、活動しやすい絶好の

曇り天気となりました。近年、歴代の部長たちが、AS運営に必要な備品の購入や、運営マニュアルの継続的な作成を進めており、今年もその積み重ねのおかげもあって、大変スムーズな運営ができました。今年は、毎年参加いただいていた中学生たちの登録がなく、中央会メンバー中心での少人数なAS運営でしたが、部員皆様が、役や会歴に関係なく活動に取り組んでいただき、大きなトラブルや苦戦をすることなく運営ができました。また、新入会員の皆様には早朝のTSC壮行会から丸一日ご参加いただきましたこと、大変感謝いたします。

皆様の意欲的な活動とご協力もあり、今年も無事にAS部運営を終えることが出来ました。

本当にありがとうございました！！

(広報委員会)



川原 聡 司 AB型

米子瓦斯(株) 施設管理部維持グループ 副グループ長
ガス事業、(ガス管保守・施工管理)
〒683-0845 米子市旗ヶ崎2200番地
TEL 23-0111 FAX 23-0118
(KT) 080-1639-8634
(EM) kawahara@yonago-gas.co.jp
S53.09生

〈コメント〉この度、入会させて頂きました川原聡司と申します。委員会や例会等の機会をとおして、皆様の知識・ご経験を学ばせていただき、自身の成長はもちろん、鳥取県西部地域の活性化に貢献できるよう頑張っております。

(継続準備委員会)



景山 慎 也 O型

サンクリーン(株) 取締役営業部長
総合衛生管理業
〒683-0805 米子市西福原5-4-6
TEL 32-5006 FAX 32-0933
(KT) 090-2002-6056
(EM) kageyama@sancclean.net
S53.10生

〈コメント〉この度7月に入会させていただきました。中央会のイメージは大人の学校、部活動という感じでしょうか。日々の社会活動の中では成長しきれない自分自身を変えていける、そんなきっかけを学んできたいと思っています。色々な面でご指導賜りますよう宜しくお願い致します。

8月役員会報告

令和元年8月1日(木) 米子市公会堂 集会室5にて8月役員会が開催されました。議題は以下の通りです。

- ・45周年記念事業の件
- ・8月例会開催の件
- ・9月例会開催の件
- ・その他

※なお、詳細については各委員長までご確認ください。

編集後記

「雄飛」の作成、編集に取り組み、改めて期首に発刊することの「雄飛」の大切さを実感いたしました。会長や副会長・委員長の思いを皆様にお伝えする場にもなりますし、45周年記念式典・通常総会卒会式・祝賀会やトライアスロンなどの当会にとって重要な事業を皆様に報告する事と記録を残す事が出来ます。次号からは「ハンサム」になりますが広報誌は当会にとって今まで続いてきた伝統であり、大切なツールという事を胸に抱いて一年間作成してまいりますのでよろしくお祈りいたします。

(広報委員会 委員長 渡邊 公平)